

英国の CPTPP 加盟に対する歓迎文書（仮訳）

JEITA と techUK は、英国の CPTPP 加盟合意を歓迎します。

日英をはじめとする CPTPP 参加国政府が、この成果を達成するために行った多大な努力に感謝いたします。

パンデミック、地域紛争、世界的な分裂と保護主義の高まりが世界的な経済停滞と国際貿易の減速を引き起こしています。モノの貿易の減少に伴って、サービス産業は各国の規制による移動の影響を大きく受けています。

このような時に、私たちは自由で公正で開かれた取引に対する根本的な信念を再度主張する必要があります。このような状況の下、我々は、英国の加盟が、投資、サービス、貿易に関する高い水準のルールに特徴づけられる自由貿易圏の拡大に弾みをつけると強く信じています。

英国の CPTPP 加盟により、GDP は 11 兆 7000 億ドルから 14 兆 8000 億ドル、世界の GDP に占める割合は 12% から 15% に増加します。英国が CPTPP に参加することは、単に数値的なものだけでなく、戦略的でもあります。英国の加盟はインド太平洋地域の同盟国に対するコミットメントを更に固めるものです。

さらに、CPTPP 参加国は革新的なデジタル貿易政策の最前線にあり、英国が加盟することで、加盟国は共同でデジタル貿易を押し広げることができます。特に、CPTPP 電子商取引に関する章には TPP3 原則とも呼ばれる「国境を越えた情報の自由な流通」、「自国内へのサーバー等の設置要求禁止」、「ソースコードの移転、開示請求の禁止」が含まれています。これらはデータが国境を越えて自由に流通し、より高度なサービスが生み出される世界の実現において不可欠な要素です。

英国がこの原則を支持することは、すべての CPTPP 加盟国にとって大きな利益となるとともに他の国や地域のモデルにもなります。

日英両国は、IT 分野における協力で長い歴史を有しています。

英国の CPTPP への加盟は、研究開発協力の推進、国際的な規制、イノベーションの促進、企業連携の一層の拡大といった分野で、2 国間の相互関係をさらに強化することを我々は確信しています。

我々は、日本、英国及び他の CPTPP 加盟国政府の全てが、早期の署名・批准に向けた努力を継続されることを要望致します。。

一般社団法人電子情報技術産業協会
会長
時田 隆仁

Tech UK
プレジデント
シーラ・フレーベル CBE